

第 84 回日本栄養・食糧学会中部支部大会 プログラム

9:30 開会の辞:三浦支部長

一般演題 午前の部① (学生優秀発表賞エントリー演題) 座長:近澤未歩(名城大学)

9:35 食餌由来の脂肪酸種の違いが小腸のリン脂質クオリティに及ぼす影響

○長岡勇之介¹、佐藤友紀¹、三好規之²、三浦進司¹ (1 静岡県立大院・食品栄養・栄養化学、2 静岡県立大院・食品栄養・長寿生化学)

9:47 LPLAT3 欠損による DHA 結合型リン脂質の減少は骨格筋ミトコンドリア機能と持久能力に影響する

○原田大輝¹、佐藤友紀¹、滝田紗恵¹、三好規之¹、橋立智美²、進藤英雄^{2,3}、清水孝雄^{2,4}、亀井康富⁵、三浦進司¹ (1 静岡県立大院・食品栄養、2 国立健康危機管理研究機構・国立国際医療研究センター・脂質生命科学研究部、3 東京大学大学院・医学、4 微生物化学研究所、5 京都府立大院・生命環境)

9:59 食事性タンパク質と野菜繊維の相互作用が腸内細菌叢を介してラットの盲腸内発酵および IgA 応答に及ぼす影響

○重富涼風¹、藤本菜摘¹、平野可奈²、松田幹^{3,4}、加藤主税⁵、西村直道⁵、日野真吾⁵ (1 静大院・総科技研、2 金城学院大・生活環境・食環境栄養、3 福島大・食農学類、4 福島大・食農学類・附属発酵醸造、5 静大・学術院・農学領域)

10:11 食品の物理的特性としての「粒度」がヒト腸内細菌の発酵プロファイルに与える影響

○藤本菜摘¹、重富涼風¹、加藤主税²、西村直道²、日野真吾² (1 静大院・総科技研、2 静大・学術院・農学領域)

10:23 腸内細菌代謝物 HYA は TGF β 作用の抑制により慢性腎臓病モデルマウスの腎線維化を抑制する

○河合穂乃華¹、伊美友妃子¹、大石結葵¹、北尾優希¹、庄司悠里¹、林美穂¹、細岡哲也² (1 静岡県立大院・薬食生命科学・食品栄養科学、2 静岡県立大・薬・分子病態学)

10:35~10:45 休憩

一般演題 午前の部② (学生優秀発表賞エントリー演題) 座長:西村直道(静岡大学)

10:45 高脂肪を含む高リン食はエネルギー制限下でも腎障害を引き起こす

○中村享太¹、阿力瑪¹、小野沢涼音²、山下開生²、新井英一^{1,2} (1 静岡県立大院・薬食生命科学、2 静岡県立大・食品栄養科学)

10:57 セサミン硫酸抱合化における新規生理作用の解明と作用点の探索

○仙田夢翔、鈴木麻友、岡本侑樹、榊利之、安田佳織 (富山県立大院・工学・生物・医薬品工学)

- 11:09 心筋内因性イミダゾールジペプチドの欠損は圧負荷による心不全の進展を悪化させた
○峯岸龍志¹、砂川陽一^{1,2,3}、鈴木悠斗¹、刀坂泰史^{1,2,3}、森本達也^{1,2,3}、細岡哲也¹ (1 静岡県立大・薬・薬学、2 国立病院機構京都医療センター・臨床研究センター・展開医療研究部、3 静岡県立総合病院)
- 11:21 肥満および代謝異常における TSP-1 の病態生理学的意義とメカニズムの解明
○北尾優希¹、伊美友紀子¹、大石結葵¹、河合穂乃華¹、林美穂¹、庄司悠里¹、細岡哲也² (1 静岡県立大院・薬食生命科学・食品栄養科学、2 静岡県立大・薬・分子病態学)
- 11:33 テオブロミンは CSN1 を標的として脂肪細胞の褐色化を誘導し、食事誘導性肥満を予防する
○井原里彩¹、米本英都¹、田中瑛美¹、三谷星一^{1,2} (1 信州大院・総合理工(農)、2 信州大・農)

11:45～13:00 休憩

(12:00～12:50 支部参与会)

特別講演

- 13:00 カロテノイドとビタミン A による骨格筋の健康制御
山地 亮一(大阪公立大学大学院 農学研究科・教授) 座長:三浦進司(静岡県立大学)

一般演題 午後の部① 座長:唐木晋一郎(静岡県立大学)

- 14:00 地域在住高齢者における共食状況と口腔機能低下症指標の関連:静岡研究
小山菜々香¹、○串田修^{1,2}、合田敏尚^{1,2}、白水雅子^{2,3}、善本佑⁴、長谷川陽子⁴、永谷幸子^{2,5}、堀芽久美^{2,6}、成瀬早苗^{2,7}、佐藤清香²、三浦綾子^{2,8}、森下紗帆^{2,8}、加藤倫卓^{2,9}、中村純也¹⁰、釘宮嘉浩¹⁰、村上正治¹⁰、栗山長門²、田原康玄^{2,11}、静岡研究グループ(1 静岡県立大・食品栄養科学、2 静岡社会健康医学大学院大学、3 京都光華女子大・短期大学部、4 新潟大院・医歯学総合、5 浜松医科大・医学部、6 国立がん研究センター・がん対策研究所、7 駒沢女子大・看護、8 常葉大・健康プロデュース、9 名古屋市立大・医学・保健医療、10 国立長寿医療研究センター、11 京都大院・医学)
- 14:12 運動中の脂質燃焼を促進する因子の検討
～高ビタミン B₂ 食と PPAR γ 遺伝子多型の影響～
○近藤志保¹、藤木理代² (1 名古屋葵大・健康科学、2 名古屋学芸大・管理栄養)
- 14:24 アルツハイマー病の脳におけるリン脂質代謝系酵素の解析
○川出野絵¹、加藤未来²、嶋田繭子^{3,4}、荻朋男⁵、齊藤貴志^{1,6}、山中宏二¹ (1 名古屋大・環境医学研究所・病態神経科学、2 名古屋大・医学部、3 名古屋大・5D 細胞ダイナミ

クス研究センター、4 名古屋大・神経疾患・腫瘍分子医学研究センター、5 名古屋学・環境医学研究所・発生遺伝、6 名古屋市立大・脳神経科学研究所・認知症科学)

14:36 過酸化リン脂質の動態解析によるフェロトーシス誘導機構の探索

○加藤主税^{1,2}、加藤俊治³、佐藤大祐³、山崎寛之²、竹腰進²、日野真吾¹、西村直道¹、仲川清隆³ (1 静岡大院・農、2 東海大・医、3 東北大院・農)

14:48 配合油脂によるアメリカミズアブ幼虫の脂肪酸組成制御とn-3系脂肪酸強化

○萩原洋樹、立松憲次郎、西片佑太郎、松永俊之(岐阜薬科大)

15:00～15:10 休憩

一般演題 午後の部② 座長: 三谷墨一(信州大学)

15:10 キトサン摂取がマイクロプラスチックの体外排泄に及ぼす影響(老齢および若齢マウスを用いた検討)

○劉笛^{1,2}、長崎祥太³、オガワ淑水⁴、瀧靖之⁴、清水宗茂¹⁻³ (1 東海大院・総合理工、2 東海大・海洋研、3 東海大・海洋・水産、4 東北大・加齢研)

15:22 米ぬかアラビノキシラン部分分解物(MGN-3)摂取による腸内微小環境の変動

○清田玲央¹、中段晴太¹、蔵川卓土¹、西川美宇²、生城真一¹、古澤之裕¹ (1 富山県立大・工学研究科・生物・医薬品工学専攻、2 宮崎大・農学・農学部門・応用生命化学領域)

15:34 短鎖脂肪酸によって惹起される腸液分泌の種差および部位差

○唐木晋一郎^{1,2} (1 静岡県立大院・薬食生命科学・環境生理、2 静岡県立大・食品栄養科学・環境生理)

15:46 2型糖尿病モデルマウスにおける腸管抗体産生に腸内細菌が及ぼす影響の解析

○近澤未歩、湊健一郎(名城大・農)

15:58 後腸発酵動物におけるプロピオン酸の糖新生への寄与

○駒場由伊¹、伊藤翼²、川瀬貴博³、塚原隆充³、加藤主税⁴、日野真吾⁴、西村直道⁴ (1 静大・農、2 静大院・総合科学技術、3 栄養・病理学研究所、4 静大・学術院)

16:10～16:20 休憩

若手シンポジウム「骨格筋と食品・栄養・代謝物」 座長: 東村泰希(石川県立大学)

16:20 令和7年度日本栄養・食糧学会 奨励賞受賞講演

骨格筋の質を維持する食品機能

吉岡泰淳(駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科)

16:45 骨格筋量の制御におけるポリアミン代謝の役割

○大藪葵^{1,4}、佐藤友紀²、川口留奈¹、吉岡潔志^{1,3}、伊藤尚基⁴、江口貴大⁴、後藤 仁志⁵、吉澤達也⁵、小川佳宏⁶、小野悠介^{7,8}、三浦進司²、亀井康富¹ (1 京都府大院・生命環境、2 静岡県立大・食品栄養科学・栄養化学、3 プロダクティブ・エイジング研究機構、4 国立長寿医療研究センター・ジェロサイエンス研究センター、5 京都府立医科大院・医学・細胞生物学、6 九州大院・医学・病態制御内科学、7 熊本大・発生医学研究所、8 東京都健康長寿医療センター)

三好規之(静岡県立大学 食品栄養科学部)

17:10 リノール酸摂取による持久運動トレーニング効果の増強

○佐藤友紀¹、桑原菜緒¹、馬込千帆¹、妹尾奈波¹、古谷亮太¹、田村優樹²、三好規之³、杉本拓海⁴、亀井康富⁴、佐々木雄彦⁵、佐々木純子⁵、進藤英雄^{6,7}、清水孝雄^{6,8}、三浦進司¹ (1 静岡県立大・食品栄養科学・栄養化学、2 日本体育大・体育学部、3 静岡県立大・食品栄養科学・長寿生化学、4 京都府立大院・生命環境・分子栄養学、5 東京科学大・難治疾患研究所、6 国立国際医療研究所・脂質生命科学、7 東京大学院・医学系、8 微生物化学研究所)

17:35 **学生優秀発表賞授賞式**

17:45 **閉会の辞:** 和泉副支部長

18:00 **情報交換会**